

橿原市長選挙公報

橿原市選挙管理委員会

プロフィール

1972年 9月26日生まれ 47歳

学歴 平成7年3月 天理大学体育学部体育学科卒業

職歴 平成7年4月～平成10年3月 奈良県内県立高等学校(上牧・大宇陀・吉野)保健体育講師
奈良市立二名中学校保健体育講師
平成10年4月～平成24年11月 衆議院議員 田野瀬良太郎 秘書(平成22年12月～ 公設第一秘書)
平成24年12月～平成26年12月 衆議院議員 田野瀬太道 公設第一秘書
平成27年4月～令和元年9月 奈良県議会議員(2期)

現在の役職 自由民主党橿原市支部支部長 橿原市サッカー協会顧問 日本少年野球連盟奈良県支部顧問 など



自由民主党推薦

かめだ 忠彦

ただひこ

今より変える！チャレンジ！新しい橿原市へ

チャレンジ！かめだ、4つのC (チャレンジ)

1 緩やかな人口増加へチャレンジ！

- 移住者に対し、体験移住や移住相談会などきめ細かいケアで、移住を促進します。
- 市街化調整区域への特区制度導入、商業地域の規制緩和で人が集まりやすくします。
- 県庁移転を積極的に働きかけ、人・もの・お金の流れを橿原市に引き寄せます。

2 子育てしやすい街へチャレンジ！

- パート主婦(夫)の年収130万円の壁を破るべく、税金軽減・保険料補助制度を作り、子育て世代の世帯年収UPにつなげます。
- 病児預かり保育所、産後ケア施設の設置や給食費補助制度を導入します。
- 保育所やこども園を拡充するとともに、保育や幼児教育に携わる方々の処遇改善をします。

3 健康長寿日本一へチャレンジ！

- 健康推進員制度を導入し、各公民館、家庭へ巡回して健康相談などを行います。
- 「あるこう橿原ポイント」導入や自治会・老人会などが行う文化・体育教室への助成制度を作り、健康増進を図ります。

4 財政健全化、国・県・市民との連携へチャレンジ！

- 約65億円で計画の中の新庁舎計画について、既存施設活用も視野に見直します。
- 徹底したコスト削減のため市長直轄のプロジェクトチームを作ります。
- 国や県と積極的に連携し、2025年までに「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録実現を目指すほか、今井町の更なる整備などにも取り組みます。

もっと、もっとと前へ

市長就任以来、さまざまな改革を皆さんと進めてまいりました。借金の減少、人もモノもお金も集まる環境づくり、各分野で皆さんが安心して快適に暮らせるまちになってきました。私たちの橿原市は着実に成長しています。

引き続き、私に希望を託してください。



森下 たくたか

皆さんと進めた実績

財政改革

財政破綻寸前だった
橿原市の借金
H18年度 539億円 ▶ H29年度 379億円に

膨れ上がっていた
普通建設事業費
前市長の12年間 1,310億円 ▶ 森下の12年間 484億円に

160億削減

箱物ストップ

成長改革

国と奈良県と橿原市の連携した成長戦略で
橿原市の経済が成長!

法人納税義務者数
H20年度 2300社 ▶ H30年度 2600社

市内宿泊者数
H20年度 約11万人 ▶ H30年度 約19万人

税收アップ

経済効果

森下たくたかだからできる橿原市の未来!

もっと、もっと 医療・介護・高齢者福祉を進化させます

医師会や他の医療機関とも連携し、日本一の医療都市を目指します。医大周辺の整備いよいよ本格化。

もっと、もっと 子ども達と、子育てを応援します

未来ある子どもを、生まれる前からまち全体で守り育む取り組みを行ってきました。子どもを取り巻く環境の充実を各機関と連携してさらに強めていきます。

もっと、もっと 防災に強い橿原市にします

豪雨災害や大地震に迅速に対応する強い本庁舎にします。期間限定の国の支援制度を利用して、スピード感をもって市民の安全・安心を守ります。

もっと、もっと スポーツが盛んな橿原市にします

2020年東京オリンピックのキャンプ地の誘致を実現、さらに奈良県と力を合わせ国体開催の実現を目指します。橿原市を奈良のスポーツの中心都市へ、子ども達が夢を持てる環境を整えます。

学生の皆さんへ 投票率UPで創設します!! 海外留学奨学金制度 投票に行きましょう!



檀原市長選挙

檀原市議会議員補欠選挙

投票日

10月27日(日)

投票時間

午前7時から
午後8時まで

大事な投票、忘れずに!

みんなそろって
投票しましょう

